

柔らの心技伝え 小中生らに教室

美浜で名大生ら

名古屋大柔道部の学生や指導者二十五人による柔道教室が二十六日、美浜町奥田の大岩道場で開かれ、小、中学生ら約三十人が柔道の技や心構えを学んだ＝写真。



教室は二十七日まで一泊二日の合宿形式。子どもたちは大学生から文武両道の精神を教わり、大学生は思いやりやいたわりの心を養いながら、互いに学び合おうと始まり、今年で二回目。

けいこ中、名大柔道部師範で県柔道連盟強化委員長の高浜久和さんが「柔道で大事なものは受け身と打ち込み」と強調。大学生と小学生らは互いに技を掛け合いながら、鍛錬していた。美浜町の河和小三年榊原透馬君は「背負い投げで技を掛けるときには、引き手をもっと上げるように言われ、勉強になった」と話していた。

子どもたちは、大学生から勉強も教わり交流を深めていた。

柔らの心技伝え

小中生らに教室

美浜で名大生ら

名古屋大柔道部の学生や指導者二十五人による柔道教室が二十六日、美浜町奥田の大岩道場で開かれ、小、中学生ら約三十人が柔道の技や心構えを学んだ＝写真。

教室は二十七日まで一泊二日の合宿形式。子どもたちは大学生から文武両道の精神を教わり、大学生は思いやりやいたわりの心を養いながら、互いに学び合おうと始まり、今年で二回目。

けいこ中、名大柔道部師範で県柔道連盟強化委員長の高浜久和さんが「柔道で大事なものは受け身と打ち込み」と強調。大学生と小学生らは互いに技を掛け合いながら、鍛錬していた。美浜町の河和小三年榊原透馬君は「背負い投げで技を掛けるときには、引き手をもっと上げるように言われ、勉強になった」と話していた。

子どもたちは、大学生から勉強も教わり交流を深めていた。